

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和2年11月16日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 木村さゆり ㊞

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>がん対策について</p> <p>(1) 厚生労働省は、第3期がん対策推進基本計画の中で、一次予防として取り組むべき施策として、スマート・ライフ・プロジェクトの普及啓発を組み組みとして挙げている。スマート・ライフ・プロジェクトとは、健康寿命を延ばすことをスローガンに、国民全体が人生を元気に健康で送れることを目標とした厚生労働省の国民運動である。運動・食生活・禁煙の3分野を中心に、具体的な実践行動について呼びかけを行っている。本市においても市民にがん予防と健康寿命、活動寿命の更なる延伸のために、スマート・ライフ・プロジェクトの具体的な実践行動に関する周知啓発を進めていく必要があると考える。本市の見解はどのようなか。</p> <p>(2) 今年度のがん検診の受診率はどのようなか。</p> <p>(3) AYA世代のがん患者に対する相談体制は整備されているのか。</p> <p>(4) 将来的に子どもを産む選択ができるよう治療前に精子や卵子など凍結保存する場合の公的支援についての市の考えはどのようなか。</p> <p>(5) 20歳から40歳未満のがん患者の在宅ターミナルケアに対して支援をすべきと考えるが見解はどのようなか。</p>	

2	<p>暮らしの安心を確保する居住支援などの強化について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、家賃や住宅ローンの支払いに悩む人が急増しており、住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化は待ったなしの課題と考える。</p> <p>(1) コロナ禍において全国的に生活困窮者支援制度における住宅確保給付金の利用が増加しているが、本市における申請件数、支給決定件数はどのようなか。</p> <p>(2) 住宅確保給付金の延長について対応策はどのようなか。</p>	
3	<p>起立性調節障害について</p> <p>起立性調節障害は、自律神経や中枢神経などに異常が起こり、立った時の血液循環にさまざまな問題を引き起こす疾患の総称である。倦怠感やめまい、吐き気、腹痛、頭痛など症状は多岐にわたる。しかし、起立性調節障害については広く知られていないため、周囲からはやる気がない、サボっている、甘えているなどと誤解されることが多い。一般的に、小学校高学年や中学生の約10%にみられると言われている。</p> <p>(1) 小中学生における起立性調節障害の児童生徒の状況について伺う。</p> <p>(2) 小中学校における対応はどのようなか。</p>	